



上加賀田支部

「まなだけ会」だより

平成 27 年 3 月 31 日発行

第 4 号

【1日研修 栃木方面】

元区長 笹嶋 弘

私達をとりまく地域社会は、人とのつながりが希薄となり諸々の事件等が発生し大きな社会問題化している。今、誰しもが望むことは、健やかで心豊かな暮らしを求めていくためには、お互いに理解しあい、共に住み良い地域環境を自ら創造していく必要が大であります。

この様なことを実践活動をし地域住民に意志の高揚を図る目的として「ふれあい、いきいき、話しあい」の場をめざし住民に趣旨の涵養をしようとする活動が求める住民研修が必要と考えられます。

毎年「まなだけ会」が主催の研修会が開かれ研修会に出席しました。

研修内容は、カルビー工場の見学、湯葉づくり体験が研修目的で、去る2月5日に実行しました。当日は、全国的に天候が悪く、大雪注意予報が発せられている中、参加人数三十数名で研修地に出発しましたが、本日の研修主体である湯葉づくり体験は、雪のため日光方面は道路事情が良くないため中止し、宇都宮市清原工業団地内のカルビー清原工場を見学いたしました。

工場に着くと、会社の係員の出迎えを受け、会議室に案内され会社の食品製造等の説明を受け、工場内の製造工程を見ました。見学後、清原工場で製造している、現代人の健康増進に不足がちな栄養素、食物繊維、鉄分等の含有のフルグラの試食会が開催され、和気藹々のもと地域住民が一体となった有意義な研修の成果が図られたと確信を致しました。



《まなだけ会 花いっぱい活動部会活動》

花いっぱい部会 若菜義友

花苗の配布日通知を受け、早々に活動計画等打合せと部会員の顔合わせを兼ね上加賀田公民館にて集会、会員相互の意志の統一を図りました。

配布されたマリーゴールド及びサルビアの花苗160本に加え、別途調達したガーベラを3か所の花壇に植栽しました。

植栽後は、雑草の発生状況に応じて2、3週間毎の除草を励行し、花壇の維持管理に努めました。

初冬に入り、盛りを過ぎて枯死し始めた花の抜き取り作業と来シーズンに向けた花壇の整備、併せて公民館の花壇にパンジーとチューリップ球根を植栽し、今年度の活動をほぼ終了致しました。

その間、「第5回笠間市花壇コンクール」にも応募致しましたが、残念ながら入賞するに至りませんでした。

以下は、コンクール審査の「総合所見」を抜粋したものです。
『道路沿いだけでなく、公民館にも植栽し、広範囲で花による街づくりの取組みが伺えました』

顧みると、3か所に分散しやや狭隘な花壇に対応した植栽の工夫に乏しかったことが反省点かと思えます。

なお、部会員の積極的な活動参加により、花壇の花もシーズンを通して咲き誇り「花によるまちづくり事業」に少しでも貢献できたことは、大きな成果と思われれます。

(編集後記)

まなだけ会 会長 黒沢政男

まなだけ会の1年間を振り返って見ますと地域の人たちに御協力いただきながら、歩んでこられましたことに感謝申し上げます。

今後とも地域の福祉活動に努力してまいりますので、よろしくお願ひ致します。